



# いちいの会 だより

令和3年  
55号

ICHIINOKAI VOL. 55

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com>



くすのき縁日の様子

## 社会福祉法人いちいの会 20周年を迎えて

総合施設長 清本 健二郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、いちいの会の事業推進に対しまして、格別のご支援とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。地域の皆様、関係機関、家族会、後援会の皆様のおかげで、無事新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

昨年令和2年10月をもって、障害者支援施設「くすのき苑」が利用者の方々を苑に迎えて20年となりました。法人他事業では、「のだネット」16年、グループホームかえでとワークショップくすのき14年、相談支援センターいちいの木8年と事業を続けております。

平成12年度より、歴代の役職員が築いてきた「利用者第一の充実した支援サービス」「地域の期待への対応」、そして新たに昨年度「やりがいと研鑽そして笑顔の職場」を基本理念に追加し、今後も地域に根差した福祉事業を進めてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この原稿を書いている12月初旬は新型コロナウイルスの第三波の真っただ中であり、この状況が今後終息に向かうのか、今以上に感染が拡大するのかわからない状況です。感染防止対策の徹底、万一感染した場合の対応の事前準備等今できる事は法人一丸となり進めております。職員には法人内にコロナを持ち込まないよう休務の時の生活様式へも対策強化を重ね重ねお願いし続けて、その中でも利用者の方の生活がもっと安心して安全に、楽しいものになるために試行錯誤しております。コロナが早く終息することを願い、今年も新たな生活様式の中、事業を進めてまいります。

末筆ではございますが、地域の皆様、関係各機関、各団体、ご家族の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。



### ●目次●

- ◇総合施設長挨拶 …… 1
- ◇新年を迎えて ……2,3
- ◇くすのき縁日  
職員日記 …… 4
- ◇行事いろいろ …… 5
- ◇新任職員紹介  
家族会の皆様へ  
家族会ギャラリー  
行事報告  
編集後記 …… 6



# 新年を迎えて



## くすのき苑

くすのき苑 副施設長 戸辺 泰介

平素よりいちいの会及びくすのき苑の運営にご協力いただき有難うございます。

この文章を書いている 12 月現在、新型コロナウイルスの感染状況は第 3 波といわれる大流行の最中で、恐らく現時点かそれ以上の警戒態勢を保ったまま、新年を迎えるのだらうと予想しています。

利用者の皆様やそのご家族には引き続き、ご利用上で様々な制限にご協力していただくことにならざるを得ず、恐ろしい感染症から身を守るためとはいえ、大変心苦しく感じています。

とはいえ、感染症対策に順応した新しい生活様式が日常になりつつあるのも事実で、特に利用者の皆様の適応力にはいろいろな面で驚かされることしきりです。とりあえず現状の出来る範囲で、サービス向上のために何が提供できるか、現場職員一同、腐心しているところです。

まずは、利用者の皆様に世知辛い世相をしばし忘れていただき、楽しい思い出となるような、施設内部だけで安全に行える行事を、年越し年明けに向け、続々企画・実施しています。

警戒は保ちつつも、前向きな気持ちで新年を迎えられるよう、心がけたいものです。

## ワークショップくすのき

ワークショップくすのき 係長 吉田 和江

新年明けましておめでとうございます。昨年は世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス拡大の影響の中、ワークショップくすのきでも試行錯誤しながら新しい生活様式に対応して参りました。日々の検温、換気、消毒、飛沫感染防止パネルの設置などご家族の皆様にも御協力頂きながら過ごしております。非常事態宣言の発令や三密防止の観点から外出を伴う行事が全て中止となってしまいました。それらの行事に変わるものはないかと職員間で話し合い、今年度は「テイクアウト DAY」と称し、和洋中と毎月お店を変え、美味しいお店のお弁当をテイクアウトする行事を計画しました。

今では皆さん「次は何かなあ」ととても楽しみな様子です。特に本格カレー店を利用した時は、自分の顔よりもはるかに大きい手作りナンと鍋ごと貸し出して下さったバターチキンカレーに歓声があがりました。これから行う新年会や納会なども利用者さんが喜んで下さるような趣向を凝らしたものを提供していきたいと思っております。With コロナ社会の新しい生活様式に柔軟に対応しながら、利用者の皆様と笑顔いっぱいのワークショップくすのきを今年も目指して参ります。本年もどうぞよろしくお願い致します。







## グループホーム

グループホーム 係長 金 隆史

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年、爆発的に流行し、現在もなお拡大している新型コロナウイルスの影響により、グループホームの入居者の方々の生活にも大きな影響が出ています。特に、各事業所のイベントの中止やソーシャルディスタンスの徹底による外出の制限、帰省の自粛等、これまで私たちが行っていた「普通の生活」が困難な状況となっています。「人に会えない」、「行きたい所に行けない」、「必要な物が手に入らない」という生活は想像以上のストレスであり、充実した生活とはかけ離れたもののように感じています。しかし、これはホームや施設に入所している方達にとって「普通」と感じていることなのかもしれません。自分たちがこのような状況となり、「生活の充実」とは何かということを変えて考えさせられています。

今後、新型コロナウイルスには厳しい対応が必要となります。生活の中で入居者の方一人一人が「自分の意志による生活」の実現が私たちの大きな課題であるのと考えられる時間となりました。「新しい生活様式」の中で、「その方らしい生き方」の実現に向け、取り組んでいきたいと思ひます。

## 中核地域支援センターのだネット

地域総合コーディネーター 五十嵐 孝子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。緊急事態宣言時には県からの要請もあり、緊急以外の訪問を控え、電話や手紙で様子の確認をしましたが、宣言解除後は感染防止に留意しながら相談対応をしてきました。私たちの仕事は不要不急でないことが、変わらぬ相談件数から実感されました。

会議を ZOOM や書面で開催し、中核センター大会も収録して配信するなど工夫や新しいことへの挑戦もありました。毎月第3日曜日に主催している当事者の集い「ゆったりカフェ」も4月から8月はお休みしていましたが、プログラムの内容を密にならないものに変更した上で9月に再開しました。5～8名の参加で少人数ですが、「楽しみにしていた」との声が聞かれ、貴重な社会参加の場を継続していく必要性を感じます。

「新しい生活様式」を踏まえ、これまで培ってきた地域の絆を大切にしながら多様な相談に対して真摯に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

## 相談支援センターいちいの木

相談支援専門員 中村 成彦

昨年は新型コロナウイルスの影響で、新たな生活スタイルが始まりました。相談支援センターいちいの木では職員2名在籍していますが感染することはなく過ごすことが出来ました。特定相談業務は、今までと変わりなく、各事業所や自宅に訪問して面談等を行いました。自粛生活になった期間、在宅で生活されてる障がい者の方で、日中活動場所が休みになったり、時短での活動になり、生活リズム(ルーティン)が崩れ、不調になる方もいました。自粛期間が明けたら、元の生活スタイルに戻すにも、時間が掛かった方がいました。障がい児の方々も学校が休校となったり、変則的な登校になり不調になる方がいました。対応として、放課後等デイサービス等の児童施設が学校の休校時には、朝から対応(平日は、学校終了後の放課後から活動)していただきましたので、スタッフの配置等、大変だったと思われます。

障がい者の方も日中活動場所が休み、時短活動となる事業所が多々ありました。休みになると一日自宅やグループホームで過ごす、時短活動になると、早く帰って来るので、その分、スタッフや家族が対応しなければならないため、大変だったと聞きます。

昨年は、いちいの木が担当する障がい者・障がい児の方々に感染の報告はなく、無事過ごすことが出来たことが幸いでした。今年も、感染予防をしっかり行い、新型コロナウイルスに感染しないよう仕事をしたいと思ひます。



# くすのき縁日



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、毎年11月に行われていた「くすのき祭」が残念ながら中止になり、そこで、利用者の皆様の楽しみが少しでも増えるような催しをと、10月30日(金)に苑内のみで「くすのき縁日」を開催しました。数日前から、「射的」「アヒルすくい」「魚釣り」「わたあめ」「ポップコーン」「くすのきバー(ドリンクバー)」「チョコバナナ」「糸引きお菓子」の出店や景品の準備をしながら「このお菓子、〇〇さん好きだね?」「これは、〇〇さんが喜んでくれそう!」と職員同士も楽しく準備を進めました。当日は、暖かな日差しに恵まれた秋空の下、苑庭で焼きそばと唐揚げをみんなで賑やかに食べました。出店の開店とともに、作りたてのわたあめやポップコーン、面白く可愛くデコレーションされたチョコバナナ、バーテンダーがシェイカーで作るくすのきバーの特製ジュース、沢山のお菓子を景品としたゲームの数々を、利用者の皆様それぞれ、思い思いに縁日を楽しみました。

生活支援員 田鍋 智枝



## 職員日記

生活支援員 霜田 侑弥

今年度を振り返ると大半の人は新型コロナウイルスと答える人が多いと思います。私もその一人です。そんな中ではございますが、私は3月15日に入籍をいたしました。妻と知り合って4年、やっと結婚することができホッとしております。喧嘩をまだしたことがないのですが、私に難がありますので、今後とも妻を怒らせないように気を付けたいと思います。来年結婚式を挙げる予定もありますので、「早くコロナウイルス収まれ」と願う一心です。そして、去年から欲しいと思っていた新車を購入することとなり、12月下旬に納車になるとの事で、来年に向けて新しい一歩が踏み出せそうです。しかしながら、新車、結婚式と膨大なお金がなくなることで来年はゼロからのスタートになりそうな気がしますので、今からコツコツと貯金していきたいと思います。

まだしばらくはコロナウイルスが収まるか分かりませんが、来年は新生活を楽しみながら将来を見据えていけたらと思っています。







## ハロウィンパーティー

毎年恒例のハロウィンパーティー。今回は皆で楽しみを共有する事を目的にして職員も希望した利用者の皆様と仮装をしました。美味しいカボチャケーキを食べたり、折り紙でお化けやカボチャを折ったりと皆で楽しむことができました。たくさんの笑顔がみられ楽しいハロウィンになりました。

生活支援員 吉原 咲登美



## テイクアウト昼食

世間はコロナ色で、利用者の皆様が楽しみにしていた外出も行けなくなってしまったので、苑内で楽しい事ができたらと思いテイクアウト昼食を企画しました。ピザ、ハンバーグ、うなぎなどの中から皆さんに好きな食べ物を選んでもらい、笑顔溢れる楽しい食事会になりました。

生活支援員 小澤 祐子



## 魚釣りレクリエーション

9月に魚釣りレクを行いました。ラミネートした魚とお菓자에クリップを付け、釣り竿の糸の先に付いている磁石でつりあげてもらい、1分間で釣った魚の数を競い合い1番多く釣れた人にはメダルをプレゼント。魚の数を数えたり、釣ったお菓子を食べたりして楽しみました。笑顔あふれるレクリエーション活動が出来ました。

生活支援員 金子 純子



## お散歩外出

現在はコロナで自粛中ですが、利用者の皆様のストレス解消や運動を目的に神社や土手、公園といった開放的な空間へ出かけました。久しぶりに外の空気を吸い良い気分転換となったのが、皆さん楽しそうに過ごしていました。

生活支援員 高島 匡輝



## 新任職員紹介

さい じいん  
生活支援員 蔡 自寅

この度11月から働かせて頂いています蔡自寅と申します。

今まで飲食の仕事しかしたことが無かったのですが、支援員としての仕事はやり甲斐があり毎日が充実しております。

至らぬ点が多いと思いますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



## 家族会の皆様へ

第2支援係長 伊藤 雅章

家族会より、業務用のかき氷機を寄付していただきました。苑外に出ることが困難な中、苑庭に出て開放的になりながら楽しく過ごすことができました。

来年の夏もたくさん食べようね！



くすのき苑 長楨吾さんのお母様  
長則子さんの作品

## 家族会ギャラリー

グループホームけやき 島貫ヨシさんの弟  
島貫喜重さんの作品



ご自宅で育てたハーブを使って、草木染めをされているそうです。「さをり織り」は息子さんと一緒に教室に通い、色々な作品を作っているとのこと。「楨吾の方が、センスが面白いみたい」とおっしゃってられました。



若い頃から写真が趣味で、新聞社から声が係るほどの腕前だったそうですが、ご自身が報道写真は嫌だったので断られたそうです。他の仕事をしながら、撮影は50年以上続けていて、今では、ボランティアで後輩に撮影の技術を教えておられるそうです。



作品名 秋彩



作品名 天焼ける日

### 行事報告

- 4月 法人全体会 辞令交付  
権利擁護委員会
- 5月 決算監事監査  
第三者報告会
- 6月 第三者報告会 理事会
- 7月 第三者報告会
- 8月 第三者報告会

- 9月 健康診断  
第三者報告会
- 10月 法人全体会 理事会  
権利擁護委員会 ハロウィンパーティー
- 11月 くすのき縁日  
第三者報告会
- 12月 クリスマス会  
第三者報告会

※ 会議はすべて電話会議システムで行いました。

### あとがき

僕はよく小説を読むのですが、森見登美彦さんの「聖なる怠け者の冒険」という小説を読み、主人公の怠けっぷりにとても共感してしまいました。怠け者を自負する方がいましたら是非読んでみて下さい。(清宮)

休日はネットばかりの生活です。最近、パソコンデスクを買い換えました。前よりも広く、パソコンも2台に増えました。快適。家から出ない生活、あと3年は出来そうです。(藤川)

### いちいの会だより VOL.55

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑  
〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121  
TEL:04-7120-6667 FAX:04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎

編集 広報委員会 清宮・藤川

発行日 令和3年1月吉日

E-mail kusunokien@nifty.com

H P URL:http://www.ichiinokai.com/